

市民スポーツボランティア SV2004の10年

スポーツでまちが変わった、人が変わった
2004年～2013年の活動



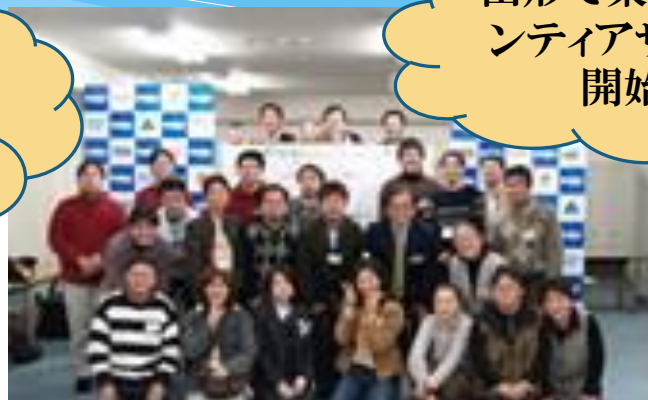
2013年12月14日(土)
スポーツフリートーク資料

2004年 誕生

宮城国体、ワールドカップ、そしてベガルタ仙台などのボランティア経験者が集まり、市民で作るスポーツボランティア組織としてSV2004は誕生しました。



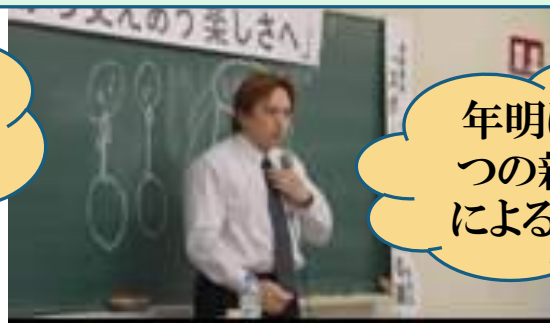
ラグビートップリーグ活動



山形で東北ボランティアサミット開始

主な活動はラグビートップリーグ、仙台カップ、何よりプロ野球やプロバスケットのボランティア立ち上げの準備がスタートした年でした。

SV最初のフリートークではサッカー日本代表の山田さん講演



年明けにはふたつの新球団代表によるフリートーク



2004年

鳥インフルエンザ発生・アテネオリンピック・自衛隊のイラク派遣

2005年 激動

実質的な一年め、ふたつのボランティア組織の立ち上げに参加、活動が広がりました。

4月楽天イーグルスホームゲームは手作りでスタート



日本一きれいなスタジアムをめざしエコ活動



5月泉ヶ岳アウトドアフェスティバル給水



9月サッカー日本代表戦



11月仙台89ERSホーム開幕



8月新潟・山形交流芋煮会スタート



2005年

愛知万博開催・JR福知山線事故・郵政民営化法成立

2006年 停滞

自主的な研修活動に活発に取り組
世界バスケットボール選手権大会の
サポートを行いました。

ボランティア・
ハンドブックの第1
版を作成

8月世界バスケット
のワールドカップ

大学ラグビーの
ボランティアを担当

2005年に比較し落ち着いた一年でしたが、自主的な活動を増やし
東北スポーツボランティア・サミットを仙台で開催しました。

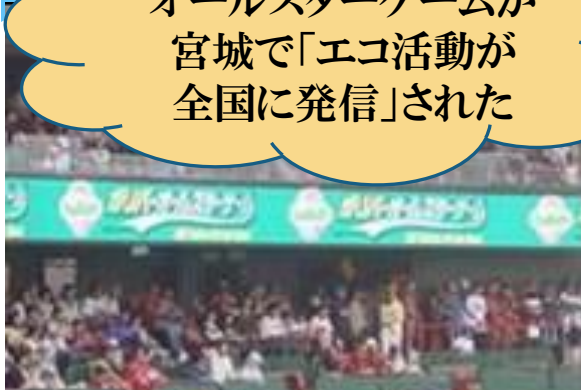
2006年

ライブドア事件・トリノ五輪で荒川静香金メダル・第一回WBC日本優勝

2007年 確実

身の丈に合わせた活動をめざし、活動に参加する人を増やすために、さまざまな工夫に取り組みました。

7月プロ野球
オールスターゲームが
宮城で「エコ活動が
全国に発信」された



エコセミナーや
ボランティア入門講座
を開催



89ERSの会場に
花が飾られた



2007年
年金記録漏れ発覚・中越沖地震発生

2008年 発信

自分達の活動、スポーツボランティアの存在をどうしたら知ってもらえるか、工夫と試行錯誤が続いた。

ボランティア
セミナーの開催



楽天ボランティア
ブース第1期



国際女子
ソフトボール
大会は震災で
消滅した



会員向け
SVからのお知らせ
SVだよりの作成
一般向け
ホームページの充実
プログラムの作成



情報発信は今も大切にしていること、記録し残す、それが誰かの役に立つ



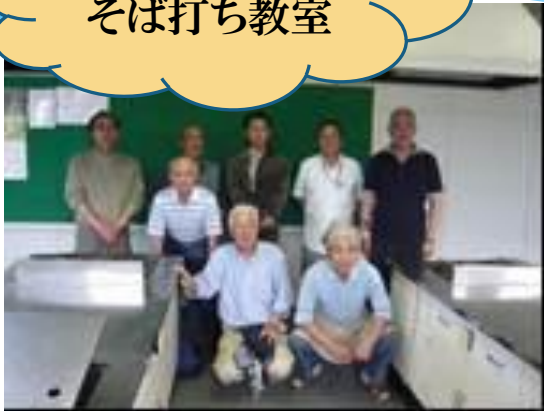
2008年

北京オリンピック・アメリカ金融危機・後期高齢者医療制度スタート

2009年 連携

ベガルタがJ1に昇格を決めて、イーグルスがクライマックスに進出、そしてbjリーグのオールスターゲームが宮城で開催。スポーツが元気な年になった。

親睦のための
そば打ち教室



恒例のスポーツ
サポートも続いた



bjリーグ
ホームタウン
ミーティング
の支援

2009年

民主党第一党に、新型インフルエンザ流行・WBC連覇

2010年 新規

新しい取り組みとして、現在28回を数えるスポーツリレートークをスタート。さらに全国のスポーツボランティアとの連携を始めました。

初のボランティア
交流イベント



平日の夜に、スポーツに
ついて考える
リレートークはこの年に
スタートした



2010年

小惑星探査機「はやぶさ」帰還、観測史上最高の猛暑

2011年 復興

間もなく本格的な春が東北に訪れるはずの3月、すべてを止めてしまう東日本大震災が発生した。言葉にできない、無力感が私たちを包み込んだ。

私たちはそれぞれの場で、自分達のできることで生き抜いた

止まった時間を再び動かし、光を感じさせてくれたもの、それは4月29日「復興デー」、ベガルタとイーグルスのホーム開幕だった。私たちはスポーツの「底力」を信じた。



地下鉄駅には
メッセージ
ポスターが
掲示された

2011年5月、東北から全国からスポーツボランティアの仲間が、グランディ・21の合宿所に集まり、緊急「東北スポーツボランティア・サミット」を開催した。

スポーツで 笑顔を未来へ

東北スポーツボランティアサミット宣言

私たちはこの度の東日本大震災からの復興に向け、スポーツを通じてたくさんの笑顔が取り戻せるよう、協力して活動することを宣言します。

3つの活動目標

1. 未来をになう子供たちに、スポーツの楽しさを伝える活動をします。
2. スポーツを通じて震災復興のための支援活動を行います。
3. 地域に根ざすスポーツ組織を支援する活動を

活動目標

1. 未来をになう子供たちに、スポーツの楽しさを伝える活動をします。
 - (a) 子供を対象にしたスポーツを楽しむ活動支援
 - (a) スポーツ組織と連携した子供向けイベントの開催
 - (b) 子供達へのスポーツ用具の寄贈支援
2. スポーツを通じて震災復興のための支援活動を行います。
 - (a) スポーツネットワークによる復興ボラの支援
 - (a) 復興支援のための募金活動の支援
 - (b) スポーツを通じた楽しむ場の提供
3. 地域に根ざすスポーツ組織を支援する活動をします。

スポーツを通じて自分達に何ができるのか、
考えてサミット宣言をまとめた。

「スポーツで笑顔を未来に」

それは、今もSV2004のテーマとなっている

2011年 復興

子どもたちのため、笑顔のため、
地元で開催されるスポーツイベントの
サポートに全力で取り組んだ。

被災地の子供たちを招待しプロ野球
オールスターゲームが開催された



オリンピックデー
も開催された



6月からはレイトークも再開し
12月には女子バレーボール
の仙台ベルフィーユも誕生

2012年 拡大

復興支援のためのスポーツイベントが増えるとともに、宮城・仙台に女子のスポーツが増えた一年。

仙台国際ハーフ
マラソンサポート



8月U-18女子
ワールドカップ



10月ねんりんピックは
研修も担当した



11月ベルフィーユ
ボランティア誕生



2013年 将来



8月サッカー
日本代表戦



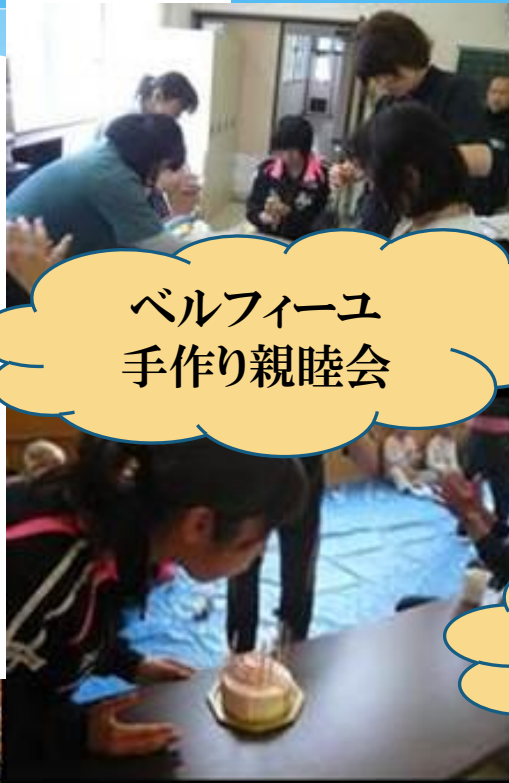
仙台国際ハーフ
マラソン市民ボラ
とりまとめ



学生と連携した
リレートーク



ベルフィーユ
手作り親睦会



全てのボラ組織が
参加した入門講座



楽天優勝
パレード



これからに向けてはじまっている事がある



ボランティアのことを自分達のために知ってもらうこと
活動の中身をともに考え良くすること
将来のスポーツについて知る事

私達には夢がある

このまちで暮らし

このまちで多くの人を笑顔にする

スポーツというものを二度と失わないため

このつながりを大切にし

「スポーツで笑顔を未来に」

そして、精一杯の感謝をこめて

ありがとう、「あなたがいたから」

これからも 夢をかたちに

